

社報
あそみや

平成17年1月1日
第37号

発行所
阿蘇神社社務所
多良見町化屋名862
☎ 0957-43-5235

—節分祭・火焼神事—

謹賀新年

阿蘇神社

宮司大島大明

輝かしき新年を言祝ぎ、謹んで
氏子崇敬者皆々様のご多幸とご繁
栄を祈念申し上げます。

今年は酉年、十二支の十番目で
動物では鶏を当てます。酉(鶏)は
十二支の内でも人との関わりの深
い動物です。鳴いて時を告げたり、
野獣や盜賊・火災などには警報の
代わりを務めたりと、昔は鶏を民
家の入り口の上に巣をかけさせて
飼育するほど大切にしたそうです。

また鶏を古語では鳴き声から、
力ヶ口または力ヶといいます。神
社では遷座祭など御神体が遷る祭
りでは、行列の出発に際し神職が
「力ヶコ」と三回発声しますが、神
これを「鶏鳴三声」といい、出発
の時を告げる鶏の鳴き声とされて
います。

不景気続きの昨今ですが、元気
なニワトリのように思い切り羽ば
たきたいと思つています。

敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であつて、崇高なる精神を培い、大
平を開くの基である。

神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を發揮し、人類
の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。
ここにこの綱領をかかげて、向かふところを明らかにし、
実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、

明き清きまことを以て祭祀にいそむこと

一、世のため人のために奉仕し、神のみこともちとして世をつくり固め成すこと
一、大御心をいだきてむづび和らぎ、
国の隆昌と世界の共存共栄とを祈ること

平成十七年節分祭

豆撒き奉仕者募集 !!

阿蘇神社恒例の節分祭が二月三日(木曜日)に行われます。多良見

三、参加料

大人 八千円
子供 五千円

町の迎春行事として定着した阿蘇神社の節分祭には、町内外より多くの方

が一年間の福を求めて参拝されます。三月には多良見町も合併をして諫早市となります。今年こそは景気回復の年になりますよ

う祈念して豆撒きをします。西(とり)歳生まれの皆さん、豆撒き行事に是非ご参加下さい。

四、申込方法

記念写真・記念品を贈呈する時間を紙に書いて、参加料

を添えて社務所へお届け下さい。

株の数の都合で定員になり次第締め切りますので、お早めに申込みをお願いいたします。

家族または友達と一緒に参加を希望される方は、その旨お知らせ願います。

◎募集要項

一、日時

二月三日(木曜日)

豆撒きの時間

一回目 午後六時四十分

二回目 午後七時三十分

三回目 午後八時二十分

※集合時間は替への着替えのため、いずれも四十分前となりますが、必ず四十分前となりますが、必ず

二、募集人員

各回 七名 合計二十二名

男女は不問ですが、子供は各回二名までとなっています。



一 特設舞台からの豆撒き -

今年の年男・年女(酉歳) -

平成五年生、昭和五十六年生

昭和四十四年生、昭和三十二年生

昭和二十年生、昭和八年生

大正十年生

◇節 分 ◇

節分というと現在では二月の節分を指しますが、本来は春夏秋冬の四季の別れを節分といいます。

立春の前日、春の節が始まる日の祓いの行事であり、鬼の侵入を防ぐため豆撒きをします。神社で拾つた豆は家庭では是非お撒き下さい。

①節分祭

午後五時に社殿で神社総代他の参列のもと行われます。氏子崇敬者の全てが恙なく春を迎えることを感謝し、今年一年間の開運招福を祈願します。

②火焼神事(ほやきしんじ)

旧年中の御神札・御守・破魔矢・熊手など神社より頒布された品々を焼き納めるお祭りで、境内に臨時の祭場を設けて行います。

③豆撒き行事

境内の特設舞台から、袴を身に着け、お祓いを受けた年男(女)が、開運招福の福豆を撒くもので、総数三五〇〇袋の豆が撒かれます。

- ◎お願ひ ◇
- ◎旧年中の御神札・御守・破魔矢・熊手・神棚などの納め所は社殿前に設置しています。
 - ◎神棚・神殿は一つにまとめ、陶器・ガラス製の付属品は分けてお持ち下さい。
 - ◎神社関係以外のもの、燃えないものが例年多く持ち込まれ、選別に苦慮しています。神社に関わりのないものは持ち込まないようお願いします。
 - ◎御神札・御守はビニール袋ではなく、新聞紙にくるむか、紙袋に入れてお持ち下さい。
 - ◎人形(雛人形、武者人形など)は可ですが、ケースのガラスは自宅で処分して下さい。また、ぬいぐるみは不可ですので自宅で処分して下さい。
 - ◎火焼神事(ほやきしんじ)は午後九時で終了します。遅れないよう持参してください。
 - ◎火焼神事(ほやきしんじ)の指示に従い、勝手に投げ込みます。



平成十六年 新嘗祭を斎行

《敬称略・順不同》

神社Q&A

謹賀新年



◇懸税 ◇ 草野 榮
◇初穂・赤米・白米 ◇ 草野 榮

神社庁西彼支部
長崎県神道青年会

阿蘇神社 宮司 大島大明
責任役員 会長 前田信太郎
副会長 吉野 徹

平成十六年の新嘗祭が十一月二十三日に斎行されました。新嘗祭は新穀感謝祭とも云い、春に行つた田祈祷祭(田植え終了後の祭り)の願成就の祭りとして行われます。

神前には喜々津内で収穫された初穂・赤米・白米、蜜柑などが奉納され、また稻穂を束ねた懸税(かけぢから)も掲げられました。祭典では宮司が五穀豊穰を感謝し、諸産業への更なる発展を祈念する祝詞が奏上されました。その後宮司以下参列者の代表が玉串を捧げて拝礼し、祭典を恙なく終了しました。

新嘗祭に際し以下の通り御奉納いただきました。御芳名を記しお礼を申し上げます。

◇初穂料 ◇ 松本 淳 かこい組(株)
池田忠憲、溝上住雄、山中季男、
峯達也、松尾興一郎、石丸隆男、
山田豊明、古賀春生、山崎弘之、
犬塚実、向井徳磨、松尾典子、
石場照喜、JAことのうみ喜々津
支所長、草野榮、多良見町長、小川虎彦、山口安博、有森商会、森誠司、吉野徹、菅崎清司、北島守幸、前田信太郎、宮嶋泉、松尾清人、葛西孝行、宮島泉、浦田辰男、森伸一郎、吉野徹

★ のし紙の書き方
のし袋は「初穂料」・「玉串料」などと記します。下段には本人の氏名、又は団体名を記します。
お酒には「奉獻」・「奉納」と書き下段には本人又は団体名を書きます。
厄入りなどで酒を持ち帰つて「御神酒開き」として宴を催しますが、「御神酒」の持ち帰りを希望される場合は二本以上をご持参下さい。一本を神前に供え、その他は「御神酒」として撤下さい。

★ 願主の決め方

厄入り・還暦などでは願主をたてて祈願しますが、願主は本人の厄を引き受けることになりますので、心身共に健康な人、また本人と同居していない人を選びます。

また厄入りの場合は、厄を自宅に持ち帰らないよう神社で祈願を受けたら真っ直ぐ家に帰らないようにす

るといふ云われます。(昔は日付が変わつてから帰宅するものとされていたそうです)このような理由で、仕事後の夕方に祈願をすることが多いようです。

- ◎ お正月には新しいお神札をお受けするのが日本の慣習です。
- ◎ 神棚は家庭の中心です。新しい御神札を受けて家庭に祀りましょう
- ◎ 祝祭日には国旗を掲げてお祝いいたしましょう

△年末年始の神社行事予定△

| | |
|-------------|-----|
| 十二月三十一日午後四時 | 大祓式 |
| 一月一日午前零時 | 歳旦祭 |
| 一月三日午前九時 | 元始祭 |
| 二月三日午後五時 | 節分祭 |

引き続き 火焼神事

引き続き 豆撒行事

二月十一日午前九時 紀元祭

都山流尺八愛好会による尺

八の奉納演奏があります。

△祭典にはどなたでも参列できます。

ご家族ご近所お誘い合わせ、お揃いでご参拝下さい。

— 第13回 新年の運だめし Cross Word Puzzle —

一年間の運だめしです。ハガキに①答え、②住所、③氏名、④電話番号を書いてお送り下さい。正解者には阿蘇神社オリジナル記念品を10名(正解者多数の場合は抽選)に贈呈します。締め切りは2月3日午後3時必着(ハガキは持参しても可)。

送り先 〒859-0401 西彼杵郡多良見町化屋名862 阿蘇神社パズル係

(正解者多数の場合、抽選は2月3日節分の第1回豆撒き終了後に行います)

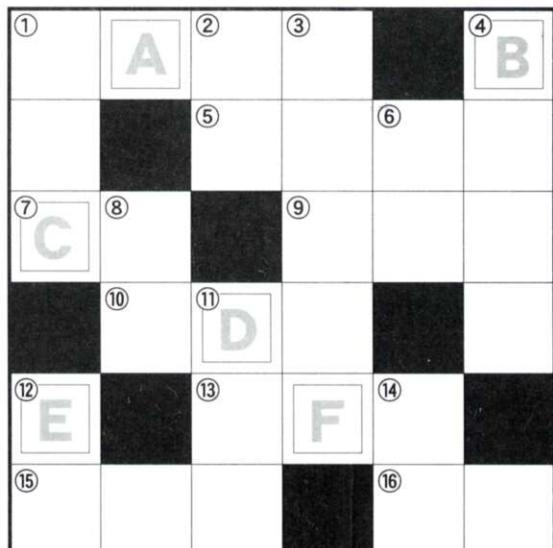
《タテのかぎ》

- ① 家族が楽しく団欒
- ② 二人一組です
- ③ おめでとう。努力の結果です。
- ④ 心の問題
- ⑤ これは高くつきますよ
- ⑥ どんな生物が棲んでいるのか
- ⑦ 得意げに話をします
- ⑧ 今更言っても仕方がないでしょう
- ⑨ 魚釣りには必需品

《ヨコのかぎ》

- ① 少しの欠点もなく、立派です
- ② ブラブなしで安心。穏やかです
- ③ あなたはの出番は来年ですよ
- ④ お客様の食事はお任せ下さい。どんな注文にも応じます
- ⑤ 魔法を使う女
- ⑥ 頭上です
- ⑦ 例年夏場になると多くなります
- ⑧ 手入れが悪いと発生

◎A~Fの文字を並べかえて下さい。
ヒント:三重県。漢字(四文字)で答えてください。



◇お知らせ◇
 ◎元旦午前零時より三日まで、参拝者には御神酒(樽酒)を振る舞います。ご自由にお受け下さい。
 ◎新年の御祈願は元旦午前零時より受け付けます。
 ◎神社の駐車場は台数に限りがあります。ご参拝の皆様方にはご迷惑をお掛けいたしますが、ご容赦のほどお願いいたします。

開運招福・家内安全
 社運隆昌・商売繁昌
 厄入・厄払・試験合格
 他

☆編集後記☆
 報道によると日本の子供の学力が世界のトップクラスから脱落▼小学校の二割強は人は死んでも生き返ると思っているとも報じられた▼近年生活環境は快適になつたが、引き替えに多くの大切なものを失つた思いがします▼利那的な快樂のみの追求する若者たち、おれおれ詐欺の主役もこうした若者たちが演じているという▼三月には新市諫早市が誕生、今年こそは明るい年であつて欲しいと願っています。

平成17年 算賀表

(年齢は数え年)

| | | |
|--|-------|--------|
| 厄入 | 男 41歳 | 昭和40年生 |
| | 女 33歳 | 昭和48年生 |
| 厄払 | 男 42歳 | 昭和39年生 |
| | 女 34歳 | 昭和47年生 |
| その他の厄の年 | | |
| | 男 25歳 | 昭和56年生 |
| | 女 19歳 | 昭和62年生 |
| ◎ その他、男女とも22歳、28歳、37歳、49歳、52歳、58歳が厄年とされています。 | | |
| 還暦 | 61歳 | 昭和20年生 |
| 古稀 | 70歳 | 昭和11年生 |
| 喜寿 | 77歳 | 昭和4年生 |
| 米寿 | 88歳 | 大正7年生 |
| ◎その他、80歳を傘寿、90歳を卒寿、99歳を白寿、100歳を上寿といいます。 | | |

参賀は人生の節目です。
神様に報告をいたしましょう。

ご家族お揃いで阿蘇神社へご参拝下さい
初詣は阿蘇神社へ!!
一年の計は元旦にあり